

# 卒後1年目研修 目的・到達目標

<b>概要</b>	日向台病院の職員としての意識と自覚を持つことができる	
	<b>目的</b>	<b>到達目標</b>
	看護職員としての自覚と責任ある行動をとることができる	①医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人権を擁護する ②看護行為によって患者の生命を脅かす危険性があることを認識し行動する ③看護師としての責任を持ち、社会人として規則・規律を守ることができる
	患者の理解と患者・家族との良好な人間関係の確立を築くことができる	①患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する②患者を一人の人間として尊重し、受容的・共感的態度で接する ③患者・家族が納得できる説明を行い、同意を得る④家族の意向を把握し、社会復帰に向けた協力を得る ⑤守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する⑥看護は患者中心のサービスである事を認識し、接する
	組織における役割・心構えの理解と適切な行動をとることができる	①日向台病院及び看護部の理念を理解し行動する②日向台病院及び看護部の組織と機能について理解する ③チーム医療の一員としての役割を理解し協働する④同僚や他の医療従事者と円滑なコミュニケーションを行う ⑤必要な報告・連絡・相談をすることができる
	主体的な自己学習の継続	①継続的な自己の学習に取り組む意識を育てる②課題の解決に向けて必要な情報を収集し、解決に向けて行動する ③学習の成果を看護実践に活用し、看護師としての成長に繋げる
<b>概要</b>	知識を学び業務を確実に実施できる	
	<b>目的</b>	<b>到達目標</b>
	精神病院における処遇を理解し対処することができる	①入院形態を理解し説明できる ②指示に従って入院の受け入れができる ③行動制限の種類と内容を理解し説明できる ④外出泊の対処ができる ⑤通信に関する対処ができる ⑥面会に関する対処ができる ⑦代理行為ができる ⑧隔離室入室時および入室中、退出時の看護ができる ⑨身体拘束時および拘束中、解除時の看護ができる
	安全で安心できる環境を提供する	①人間にとっての快適な環境を理解し説明できる ②物理的環境を整える ③人的環境を整える（患者を理解し信頼関係を築くようにかかわる）
	日常生活を援助し、自立を促す	①自立の意味を理解し説明できる ②日常生活行動の自立に向けた援助ができる（日常生活上の困難を補う・自立に向けた援助ができる）
	社会適応技術獲得のための援助ができる	①社会に適応するための技術を理解し説明できる ②活用できる社会資源を理解し説明できる
	的確な看護判断と適切な看護技術の提供ができる	①科学的根拠と観察に基づき、看護技術の必要性と判断ができる ②看護技術の正確な方法の熟知と、実施によるリスクの予測ができる ③患者の個別性や状況に応じた看護技術の選択と応用ができる ④患者にとって安楽な方法での看護技術の実施ができる ⑤看護計画の立案と、実施した看護ケアの正確な記録と評価ができる ⑥精神科看護の基本・及び精神科疾患を理解し実践できる
	患者及び家族への説明と助言ができる	①看護ケアに関する患者への十分な説明と患者の選択を支援する働きかけができる ②患者家族とコミュニケーションがとれ、家族への配慮や助言ができる
	医療事故防止に取り組む	①医療安全・事故防止に向けた行動ができる ②事故防止に向けた、チーム医療に必要なコミュニケーションを行うことができる ③適切な感染管理に基づいた感染防止ができる
	プリセプターシップ	①プリセプターシップの進め方を理解する ②深刻なリアリティショックを体験することなく職場に適応できる ③プリセプターやサポーターと円滑なコミュニケーションができる
<b>概要</b>	精神科の特徴を理解する	
	<b>目的</b>	<b>到達目標</b>
	場の特徴を理解し説明ができる	①精神病院（病床）の運営が精神保健福祉法によって規定されていることを理解し説明ができる ②精神障害者の入院決定の特徴を理解し説明ができる ③看護者の代理行為の意味を理解し説明ができる
	対象の特徴を理解し説明ができる	①疾病を理解し説明ができる ②特徴的な症状を理解し説明ができる ③症状を観察し記録ができる ④治療の特徴を理解し説明ができる（薬物療法について理解し説明ができる・精神療法について理解し説明ができる・作業療法について理解し説明ができる）

概要	看護実践における管理的側面を理解・実践する	
	目的	到達目標
安全管理		①日向台病院及び病棟における医療安全管理体制について理解する ②インシデント（ヒヤリ・ハット）や事故の報告を速やかに行う
情報管理		①日向台病院の医療情報における規定を理解する ②患者・家族等に対し、適切な情報提供を行う ③プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う ④看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する
業務管理		①業務の基準・手順に沿って実施する ②複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する ③業務上の報告・連絡・相談を適切に行う ④決められた業務を時間内に実施できるように調整する
薬剤などの管理		①薬剤を適切に請求・受領・保管する（毒薬・劇薬・麻薬・向精神科薬など）
災害・防災管理		①定期的な防災訓練に参加し、災害発生時に決められた初期行動を円滑に実施する ②日向台病院の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明できる
物品管理		①規定に沿って適切に医療機器・器具を取り扱う ②看護用品・衛生材料の整備・点検を行う ③患者の負担を考慮し、物品を適切に使用する ④コストと効率を考慮して、衛生材料等の物品を適切に選択する

## 卒後 1 年目年間研修内容

月	研修内容
4 月	入職時オリエンテーション プリセプターシップについて フォーカスチャーティング 技術研修 （静脈採血・筋肉注射・輸液療法・口腔、鼻腔、気管内吸引・血糖測定・インスリン注射・胃管留置・経鼻経管栄養法）
5 月	リフレッシュ研修 「WRAPでいっしょにリカバリー！～☆ Good Good Feeling 素敵なひとときを過ごそう ☆～」
6 月	傾聴・受容・共感について
7 月	精神科救急の看護
8 月	フィジカルアセスメント
9 月	リフレッシュ研修 「WRAPでいっしょにリカバリー！～☆ Good Good Feeling 素敵なひとときを過ごそう ☆～」
10 月	急変時の看護
11 月	対象理解 精神疾患を抱える人への理解を深め看護につなげる
12 月	精神科薬物療法と看護
2023年1月	ナラティブ研修
2月	1年間を振り返り、2年目の準備

# 卒業後2年目研修 目的・到達目標

目的	到達目標
1) 看護実践能力の向上	①精神科疾患の特徴や治療が理解でき、看護実践に活用できる ②薬物の作用を理解したうえでリカを予測して与薬できる ③患者・家族の心理社会的情報を追加情報として収集し把握できる ④受け持ち患者の看護計画を立案・実施できる。 ⑤ケア結果を評価し計画を変更できる ⑥カンファレンスの場で積極的に発言できる、また事例を通して自分の看護を振り返ることができる ⑦緊急時に異常を発見し、手順を理解し実施できる ⑧優先度を判断し、適切な連絡と報告ができる
2) 対人関係能力の向上を目指す	①プロセスレコードを活用し、対人関係能力の再認識をできる ②自己の傾向に気づき自己理解を深めることができる
3) チームリーダーとしての役割が理解できる	①望ましいチームリーダーの在り方について考えることができる ②医師や同僚、その他の職員と協調して仕事ができる ③新人看護師と看護学生に対して指導方法について考えることができる。
4) 精神科領域以外の看護・環境・医療を知ることにより視野を広げ それらの経験を精神科看護の上 に役立てる	①精神科以外の診療科におけるケアと精神科援助について学ぶ ②プライマリナーシングの役割と実際 ③看護記録 ④検査・医療機器の見学
5) 看護や教育場面にに対し研究的視点で取り組む	①事例に対し文献検索を行い意味づけができる

## 卒業後2年目年間研修内容

月	研修内容
4月	導入研修
5月	リフレッシュ研修
6月	ケーススタディー導入
7月	プロセスレコード1回目
8月	リーダーシップ
9月	看護展開、優先度、多重課題について
10月	多職種連携
12月	プロセスレコード2回目or自己の振り返りディスカッション
2023年1月	ケーススタディー発表会
2月	まとめ発表会【年間を通しての学びと来年度の課題】

# 卒後3年目研修 目的・到達目標

目的	到達目標
1) チームリーダーとしての役割を果たすための基礎的な知識を身につけ 実践することができる	①チームの中で期待されている役割を認識し、リーダーシップが実践できる ②チームメンバーとしての自分の動きを振り返り、チームワークを促進できる ③チームメンバーとしての責任のある行動がとれる ④チームカンファレンスを積極的に計画し、運営ができる
2) 教育的な役割を担うための基礎的な知識を身につけることができ 実践する事ができる	①必要な看護技術・知識の習得の為に教育計画を教育担当者とともに立案し実施することができる。 ②年齢や経験の近い先輩の位置にありサポーターとして新入職者が専門職として成長発達できるように教育的・精神的に援助し指導方法を考えることができる ③自己の看護を振り返り、看護観の確立を目指すと共に、指導能力の育成および、指導観を考える機会とすることができる ④精神科看護に必要な知識・技術を、専門的な知識・技術へ発展させる事ができる

## 卒後3年目年間研修内容

月	研修内容
5月	導入研修・ケーススタディ導入研修
6月	リーダーシップ(チームメンバー)について
7月	プロセスレコード(後輩指導やチーム内での出来事)
8月	教育・指導方法について
9月	チームカンファレンス 計画・運営
10月	学びたい内容
11月	プロセスレコード(後輩指導やチーム内での出来事)
12月	チームカンファレンス 結果報告会
2023年1月	ケーススタディ発表
2月	まとめ発表会【年間を通しての学びと来年度の課題】



# 卒後4年目研修 目的・到達目標

目的	到達目標
<p>指導者層としての自覚を持ち、日々の看護や後輩・学生の指導などにリーダーシップが発揮できる</p>	<p>①精神科看護に必要な専門的知識・技術を身につけ実践することができる ②看護上の問題に関する優先度・緊急性について状況判断が出来る            ③看護師として常に問題意識を持ち、問題の解決や業務改善に対し取り組むことができる            ④組織の中のチームの役割、看護におけるチームの意義について認識できる ⑤チームリーダーとして責任ある行動がとれる。            ⑥チームカンファレンスを積極的に計画し、運営できる。 ⑦チームの一員として多職種・部門と連携がとれる。            ⑧後輩スタッフ個々の能力に応じた指導・援助ができる（プリセプターの補佐を行う）            ⑨リスクのある患者に安全対策をとったり、リスクに気付いた時に業務カンファレンスを開くことができる。            ⑩医療事故発生時、適切な報告や患者家族への対応ができる。            ⑪指導者層としての自覚を持ち、教育担当と共に指導的な役割を担い、新人・後輩指導をする事が出来る。            ⑫新人・後輩指導・関わりを通して、自己の看護を振り返り、看護観の確立を目指すと共に指導能力の育成及び指導観を考える機会を持つことができる。</p>

## 卒後4年目年間研修内容

月	研修内容
4月	ポートフォリオ導入研修
5月	プリセプターシップ研修 初期研修
6月	フォローアップ面談
7月	リフレクション研修
8月	看護とは・精神科看護とは研修
9月	フォローアップ面談
10月	中間面接
11月	精神科薬物療法
12月	フォローアップ面談
2023年1月	最終面接
2月	発表会 サマリー・ポートフォリオ

# 卒後5～8年目研修 目的・到達目標

目的	到達目標
<p>中堅層としての役割を認識して問題意識をもって日々の業務にのぞみ上司と協調して、問題解決や業務の改善をはかることができる。又、後輩に対して役割モデルを示すことができ、後輩学生指導にリーダーシップを発揮できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①個々の患者の病態生理・心理社会面を踏まえた看護計画を立案できる</li> <li>②根拠に基づいた看護計画を立案実践・評価できる</li> <li>③研究的態度で看護実践を行い、看護研究に取り組む</li> <li>④後輩、学生指導に携わり指導的役割を発揮できる</li> <li>⑤中堅として柔軟に行動できるよう院外研修参加を取り入れ自己能力の拡大をはかる</li> <li>⑥中堅としての立場、役割を認識し主体的に行動できる。</li> <li>⑦後輩学生指導を通じて指導力の向上に努め、指導観について考える機会を持ち確立できる。</li> <li>⑧自己のキャリアビジョンについて考えることができる。</li> <li>⑨自己決定した内容を、責任を持ち実施できる。</li> </ul>

## 卒後5～8年目年間研修内容

月	研修内容
4月	導入研修
5月	プリセプターシップ
6月	3者面談
7月	看護教育について(片倉主任より講義)
9月	中間評価
10月	3者面談
2023年1月	3者面談
2月	発表会